

まちの価値を高め、魅力ある中心市街地に

裾野駅周辺地区は、商業・居住環境、交通機能や防災面など多くの問題を抱えています。裾野駅西土地区画整理事業では、道路や公園、水路などの公共施設や宅地を整備し、市の玄関口にふさわしい活気ある商業地と、快適で利便性の高い中心市街地の形成を目指します。

平松新道線や桃園平松線の整備が進み、まちの姿が大きく変貌していく土地区画整理事業の仕組みと進捗状況をお知らせします。

☎ 区画整理課 994-1274



土地区画整理事業で変わる街並み

土地区画整理事業は、道路や公園などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業です。この事業は、道路拡幅のために用地買収を行う事業とは異なり、十分な公共施設を確保するために、地権者がその権利に応じて少しずつ土地を出し合い（減歩）、この土地を道路や公園などの公共施設に充てます。

土地区画整理事業の仕組み

土地区画整理事業は、土地の交換や分合を伴う事業の性格上、実施中は、所有権などを持っている土地の位置と実際に使用する土地の位置が異なる期間が発生します。土地の権利と位置は、事業完了時に一致します。

用語解説

げんぶ 減歩

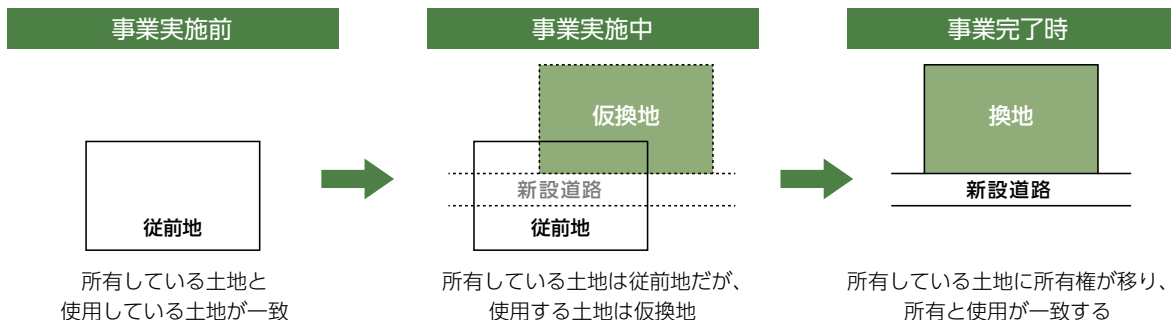
土地区画整理事業で、公共施設を増やすために必要な土地を地区内の地権者から少しずつ出していただき、個々の土地の面積が事業で減少すること

従前地

土地区画整理事業が実施される前の、もともたある土地のこと

仮換地

土地区画整理事業の実施中、従前地の代わりに使用できるように指定された土地のこと



■ 現在までの進捗と今後の見通し

① 裾野駅西口駅前広場の供用開始

令和3年3月10日(水)に新たに整備された裾野駅西口駅前広場の供用が開始されました。新駅前広場は、以前と比べ面積が広くなり、ゆとりある歩行者空間が確保されました。バリアフリーに対応したスペースも整備され、どなたでも安全で快適に利用できるようになりました。バス、タクシー乗り場も明確に区分され、シェルターや照明灯、案内看板などが整備されたことで、利便性も大幅に向上しました。

引き続き裾野駅西口周辺の整備を行い、市の玄関口にふさわしいまちづくりを進めます。



② (都) 桃園平松線の開通

令和3年11月24日(水)に都市計画道路桃園平松線が開通し、水窪深良線から平松新道線までの通行が可能になりました。引き続き水窪深良線・平松新道線の歩道整備・拡張整備を進めます。



今後は、裾野停車場線南側区域、北側区域の順に整備を行う予定です。

裾野駅西土地区画整理事業の概要

施行面積 : 17.6ヘクタール

平均減歩率: 14.74%

施行期間 : 平成15年2月17日～令和12年3月31日

総事業費 : 220億円

事業経緯

平成9年 都市計画決定

平成15年 事業計画決定

平成19年 事業計画(第1回変更)決定

平成28年 事業計画(第2回変更)決定

平成30年 事業計画(第3回変更)決定

■ 便利で活気のあるメインストリートに

● 小池 貞子さん (緑町)

道が良くなり、道路が水に浸かることがないため、歩きやすくなりました。整備は進んでいますが、事業の長期化で人のつながりが切れることが心配です。以前のように子どもの声が聞こえ、活気がある市のメインストリートになってほしいです。

● 芹沢 隆二さん (東町)

商売をしていて、広い道に面したため、お客様から「道とお店がきれいになったね」と言われます。新たに住む人や商店が集まり、便利な駅前になるよう、早く整備を進めてほしいです。多くの人が商店街を歩き、買い物を楽しむ姿が見たいです。

■ 区画整理事業への疑問にお答えします

● この事業に使うお金は他の事業に使えるのですか？

裾野駅西土地区画整理事業の事業費は、この事業を実施するために、国からの補助金や地方債(借入)などを充てています。これらの財源は、この事業を実施することによって、はじめて確保できるものです。事業費を他の事業に使うことはできません。

詳しく知りたい人は出前講座をご利用ください

生涯学習まちづくり出前講座にお申し込みください。市職員が皆さんのところへ出向き、土地区画整理事業についての講座を実施します。

